

平成 18 年度

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

総 会 資 料

日時：平成 18 年 5 月 12 日（金） 15 時 30 分～17 時 30 分

場所：仙台市戦災復興記念館 4 階第研修室

仙台市青葉区大町 2 丁目 12-1 (TEL.022-263-6931)

1. 総会議事 15 時 30 分～16 時 30 分

(1) 開会宣言

(議長選出)

(2) 議事

①平成 17 年度活動報告

②平成 17 年度会計報告

③監査報告

④平成 18 年度部会幹事人事 (案)

⑤平成 18 年度活動計画 (案)

⑥平成 18 年度会計予算 (案)

⑦規約一部改正

(3) 閉会宣言

2. 特別講演 16 時 30 分～17 時 30 分

演題：水に関する諸問題—水災害・水資源開発・水辺環境の保全と創造—

(株)建設技術研究所 菅原 捷 氏

(技術士 (応用理学部門))

3. 意見交換会 17 時 45 分～19 時 45 分

場所： 中国飯店 紅龍

仙台市青葉区大町2-7-15

TEL 022-222-9908

(戦災復興記念館から西へ 200 m ほど行ったところ)

会費： 4,000 円

1. 平成 17 年度活動報告

1.1 部会会員数

東北支部応用理学部門 名 (内 正会員 名)

1.2 活動報告

(1) 平成 17 年度総会

日時：平成 17 年 6 月 10 日 (金)

場所：仙台市福祉プラザ 10 階第 2 研修室

参加者：35 名 (委任状 18 含む, 会員総数 67 名)

意見交換会：仙台市福祉プラザ 2 階 レストラン 13 名参加

(2) 見学会

日時：平成 17 年 7 月 29 日 (金)

場所：(独)産業技術総合研究所東北センター

特別講演：「みちのく～東アジアの地質災害抄々」

(独)産業技術総合研究所東北センター長 加藤 碩一氏

参加者：17 名

意見交換会：9 名

(3) 平成 17 年度第 1 回研修会 —アスベスト被害から学ぶ—

日時：平成 17 年 12 月 9 日 (金) 13 時 30 分～17 時

場所：仙台市太白中央市民センター 3 階大会議室

内容：・アスベストの産状と性質について

(株)パスコ東北事業部専門部長 三浦 隆氏

・アスベスト被害と危機管理

宮城県環境生活部環境対策課

課長 安斎文雄氏

・アスベスト被害の調査と対応

エヌエス環境(株)東北支社

仙台支店長 浅野幸雄氏

・科学技術の光と影 アスベスト被害とナノテクノロジー

石巻専修大学理工学部 亀山 紘教授

研修概要：最近話題のアスベスト被害について、基本的な鉱物学的知識から、採取、その製品化まで、さらに学校等の建物への使用の実情、被害の実態などについて研修した。さらに、被害の対策、アスベスト以外の最近のナノテクノロジーに関する問題点などについても研修した。

参加者：37 名

意見交換会：12 名

(4) 平成 17 年度第 2 回研修会

共催：宮城県技術士会、(社) 日本技術士会東北支部防災研究会

日時：平成 18 年 2 月 10 日 (金) 13 時 30 分～17 時

場所：ユアテック会議室 (仙台市宮城野区)

内容：「地震が来ても、助かります！助けます！ ～防災マップを生かすために～」

講師

報告会：中里俊行氏 (会員, (有)ジオテクノ中里産業)

蘓武昌春氏 (南光台悠友クラブ)

コーディネータ (基調講演)： 阿部育子氏 (仙台市東部市民センター・
東部児童館館長)

パネリスト 蘓武昌春氏 (南光台悠友クラブ)

北川 進氏 ((社)宮城県社会福祉協議会)

神田重雄氏 ((社)日本技術士会東北支部 防災研究会)

黒墨秀行氏 ((社)日本技術士会東北支部
応用理学部会地震防災 WG, 岩手県技術士会)

研修概要：地震防災の出前講座と地域での防災マップづくりの報告 2 題, 地震防
災の取り組みに関する基調講演, 今後の地震防災に関する討論会 (特
に, 一般市民との関係, ボランティア活動, 地震防災に対する技術士
会の取り組みなど)

出席者：講師を含め 50 名, (うち一般市民 17 名)

意見交換会：25 名

(5) 役員会

8 回開催 (平成 17 年度第 1 回：

4/28, 第 2 回：6/10, 第 3 回：9/30, 第 4 回：11/18, 第 5 回：12/9, 第 6 回：1/13,
第 7 回 2/10, 第 8 回 3/20)

(6) 地震防災 WG

会議 5 回開催 (第 11 回：4/28, 第 12 回：6/10, 第 13 回：7/29, 第 14 回：8/7,

出前講座反省会：9/24, 第 15 回：2/25)

出前講座：南光台市民センター (3 回, 参加者延べ 205 名)

中田市民センター (3 回, 参加者延べ 37 名)

石巻住吉町内会 (参加者延べ 38 名)

太白中央市民センター (3 回, 参加者延べ 38 名)

福室市民センター (第 1 回のみ, 第 2 回, 第 3 回は平成 18 年度)

防災行事参加

田子市民センター

安全マップづくり指導

南光台子ども育成会 約 60 名参加

2. 平成17年度会計報告

応用理学部会 平成17年度 会計決算(案)

	H17年度予算	H17年度決算	対比
総収入	494,104	678,974	△ 184,870
総支出	454,104	608,006	△ 153,902
H18年度繰越金	40,000	70,968	△ 30,968

【収入の部】

科目	H17年度予算	H17年度決算	対比	摘 要	
H16年度繰越金	34,104	34,104	0		
支部交付金	50,000	50,000	0		
小計	84,104	84,104	0		
事業収入	総会	40,000	52,000	△ 12,000	交流会費
	見学会	50,000	56,500	△ 6,500	資料代
	第1回研修会(環境)	160,000	83,000	77,000	37名参加
	第2回研修会(防災)	160,000	127,000	33,000	47名参加
	地震防災WG活動	0	267,120	△ 267,120	
雑収入	0	9,250	△ 9,250	キャンセル還付金	
小計	410,000	594,870	△ 184,870		
総収入	494,104	678,974	△ 184,870		

【支出の部】

科目	H17年度予算	H17年度決算	対比	摘 要	
事業費	総会	60,000	71,804	△ 11,804	講演謝礼, 交流会費ほか
	見学会	70,000	53,904	16,096	資料印刷費, 謝礼
	第1回研修会(環境)	140,000	122,960	17,040	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	第2回研修会(防災)	140,000	122,580	17,420	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	地震防災WG活動	0	212,131	△ 212,131	
	小計	410,000	583,379	△ 173,379	
管理費	会議費	30,000	23,450	6,550	幹事会6回
	通信費	5,000	1,020	3,980	送料ほか
	事務雑費	5,000	157	4,843	
	予備費	4,104	0	4,104	
	小計	44,104	24,627	19,477	
総支出	454,104	608,006	△ 153,902		

3. 監査報告

監 査 報 告 書

平成 17 年度の事業および会計を、帳簿ならびに証拠書類により監査した結果、相違なく、適正に処理されていることを確認しました。

監査に係わる特別意見

事業活動状況については、幹事及び地震防災ワーキンググループメンバーの皆さんの活発な活動（ボランティア）が顕著であります。特に、地震防災ワーキングによります出前講座は、地元町内会からも賛辞を受けており、今後共、地道な活動では有りますが継続を期待します。反面、見学会や研究発表会の参加者が淋しいものがあり、今後テーマや会員への啓蒙活動が必要であります。また、応用理学部会である以上、地質にこだわることなく多方面の企画の検討も必要と思われれます。

平成 18 年 4 月 日

(社) 日本技術士会東北支部 応用理学部会

監事

印

4. 平成 18 年度 役員人事 (案)

役職	氏名		所属	担当
部会長	滝田良基		(株)ニュージェック	
副部会長	守屋資郎		(株)復建技術コンサルタント	
副部会長	本田忠明		(株)いずみ測量設計	総務・会計
代表幹事	今野隆彦		(有)ジオプランニング	総務・会計
幹事	押見和義		(株)復建技術コンサルタント	青森
幹事	尾崎裕司	新任	日本工営(株)	広報
幹事	谷藤允彦		新協地水(株)	福島
幹事	中里俊行		(有)ジオテクノ中里産業	行事
幹事	中村光作		新和設計(株)	広報
幹事	新沼正彦		(株)菊池技研コンサルタント	岩手
幹事	大友秀夫		東北ボーリング(株)	行事
幹事	三苫 寛		ジオテックコンサルタンツ(株)	秋田
幹事	三浦 隆		(株)パスコ	行事
監事	佐藤一夫		(株)仙台技術サービス	
顧問	羽竜忠男		北光ジオリサーチ(株)	

敬称略

退任：幹事 熊谷 周 氏 (広報担当)・・・転勤のため

役割分担 担当幹事 平成 18 年度継続

- ① 行事・・・年間活動 (総会, 見学会, 研修会の総括)
- ② 広報・・・各行事の広報担当 (事務局への広報, 支部への報告)
- ③ 総務・会計・・・幹事会の手配, その他。会計。

5. 平成 18 年度 活動計画 (案)

①総会：平成 18 年 5 月 12 日(金)15 時 30 分～17 時 30 分

総会 15 時 30 分～16 時 30 分

特別講演 16 時 30 分～17 時 30 分

意見交換会 17 時 45 分～19 時 45 分

特別講演：水に関する諸問題 - 水災害・水資源開発・水辺環境の保全と創造
(株)建設技術研究所 菅原 捷 氏

(技術士 (応用理学部門))

意見交換会：中国飯店 紅龍 会費 4,000 円

②平成 18 年度見学会 平成 18 年 7 月 14 日 (金)

宮城県南部の地すべり地 (村田町菅生平地すべり)

③平成 18 年度第 1 回(環境)研修会 平成 18 年 9 月中旬

環境関連

場所未定

④平成 18 年度第 2 回(防災)研修会 平成 18 年 11 月中旬

地震防災 WG 活動報告

場所：東北福祉大 (予定)

⑤地震防災 WG

市民センターと連携して、出前講座の継続実施。

福室市民センター (第 2 回 4/15(土)午後, 第 3 回 4/22(土)午後)

秋保市民センター 6 月～7 月

⑥その他

東北福祉大学と締結した「減災力向上のための連携・協力に関する協約 (パートナーシップ協約) に基く技術アドバイス

6. 平成18年度 会計予算(案)

【収入の部】

科目	H18年度予算	H17年度決算	対比	摘要	
H17年度繰越金	70,968	34,104	36,864		
支部交付金	100,000	50,000	50,000		
小計	170,968	84,104	86,864		
事業収入	総会	40,000	52,000	△ 12,000	交流会費
	見学会	50,000	56,500	△ 6,500	資料代
	第1回研修会(環境)	100,000	83,000	17,000	40名参加
	第2回研修会(防災)	110,000	127,000	△ 17,000	50名参加
	地震防災WG活動	100,000	267,120	△ 167,120	
雑収入	0	9,250	△ 9,250		
小計	400,000	594,870	△ 194,870		
総収入	570,968	678,974	△ 108,006		

【支出の部】

科目	H18年度予算	H17年度決算	対比	摘要	
事業費	総会	60,000	71,804	△ 11,804	講演謝礼, 交流会費ほか
	見学会	75,000	53,904	21,096	資料印刷費, 謝礼
	第1回研修会(環境)	130,000	122,960	7,040	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	第2回研修会(防災)	140,000	122,580	17,420	会場費, 印刷費, 交流会ほか
	地震防災WG活動	100,000	212,131	△ 112,131	印刷費等
	小計	505,000	583,379	△ 78,379	
管理費	会議費	30,000	23,450	6,550	幹事会6回
	通信費	2,000	1,020	980	送料ほか
	事務雑費	1,000	157	843	
	予備費	5,000	0	5,000	
	小計	38,000	24,627	13,373	
総支出	543,000	608,006	△ 65,006		

7. 規約の改正案

改正前

第8条 総 会

1. 総会は定期総会及び臨時総会とし、部会長が召集する。
2. 定期総会は、**毎年6月**に開催する。
3. 臨時総会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時総会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに総会を招集しなければならない。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北支部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）

改正後：太字部分

第8条 総 会

1. 総会は定期総会及び臨時総会とし、部会長が召集する。
2. 定期総会は、**原則として支部総会前**に開催する。
3. 臨時総会は、次の各号に該当する場合に開催する。
 - ①役員会において必要と認めた場合
 - ②部会員の5分の1以上から会議の目的たる事項を示し請求があった場合
 - ③前項の規定により臨時総会を開く請求があったときは、部会長は、速やかに総会を招集しなければならない。

4. 総会の議長は部会長が務める。

第6条 役員の仕事

1. 部会長は、部会を代表し、全般を総括し、必要に応じて日本技術士会東北支部の役員会で部会に関する意見を述べることができる。
2. 副部会長は、部会長を補佐し部会長に事故があるときは、その仕事を代行する。
3. 幹事は、部会の年次計画案を作成、実行、その他事務事項を担当する（部会員の連絡事項を含む。）
4. 監事は、支部の経理状況及び業務の執行の状況を監査する。更に、役員会に出席して職務に対する意見を述べる事ができる。

以上